

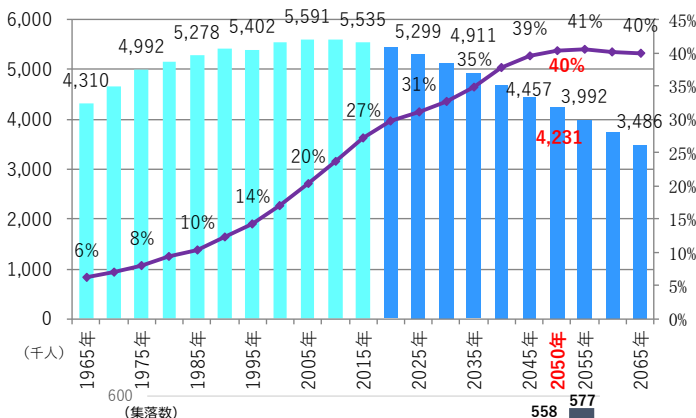
# 中播磨新地域ビジョン検討委員会 第3回観光交流部会 基礎資料

## 地域活性化と 地域コミュニティの維持・再生

### コミュニティを取り巻く環境① (人口減少・少子高齢化)

- 2015～2050年で24%・約130万人の人口が減少。人口の偏在化も進行
- 65歳以上の人口も2050年には40%まで上昇
- コミュニティの活力の低下、担い手不足などコミュニティの維持には厳しい環境となる

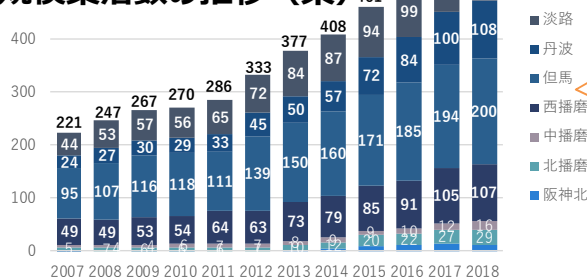
#### ◆ 人口の将来推計 1965～2065年の「人口と65歳以上人口比率」の推移(2020年以降は推計)



地域	2015年	2050年	増減率
神戸	1,537千人	1,148千人	△25%
阪神南	1,036千人	878千人	△15%
阪神北	722千人	590千人	△18%
東播磨	717千人	596千人	△17%
北播磨	272千人	187千人	△32%
中播磨	579千人	463千人	△20%
西播磨	260千人	153千人	△41%
但馬	170千人	84千人	△51%
丹波	106千人	62千人	△42%
淡路	135千人	70千人	△48%
全県	5,534千人	4,231千人	△24%

出典 2015年:国勢調査 2030年、2060:社人研推計をもとに県ビジョン課推計

#### ◆ 小規模集落数の推移(県)



県内の小規模集落数は継続して増加。  
2018年は577集落と10年間で約2.5倍。  
自治機能の維持が困難な地区も。

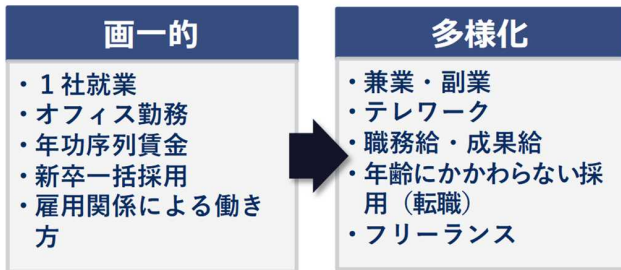
※小規模集落:世帯数50戸以下で高齢化率(65歳以上比率40%以上の集落(市街地及びその周辺、駅周辺などを除く))

出典 県地域創生局調べ

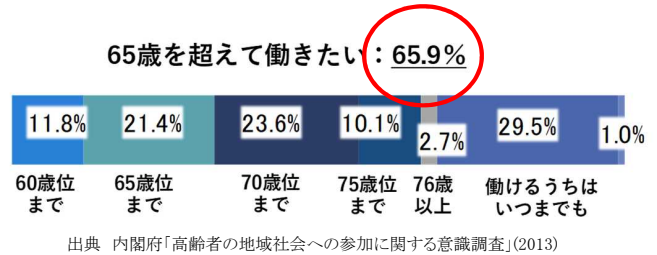
# コミュニティを取り巻く環境② (働き方の変化)

- テレワーク、兼業・副業など働き方の選択肢が拡大
- 働き続けたい人は増加。退職後の活動の場の面があるコミュニティはどうか
- 時間や場所を選ばないテレワークの普及は地域での活動の担い手を増やすか

## ◆働き方の多様化

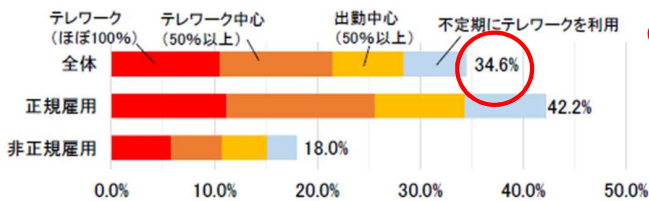


## ◆働き続けたい年齢

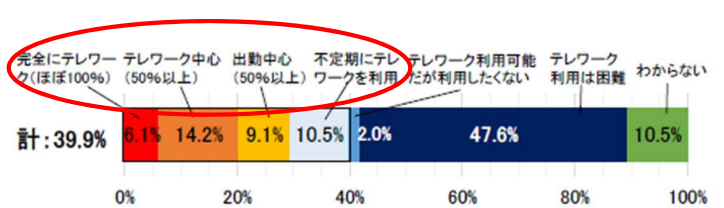


## ◆テレワーク実施状況

※5/25~6/5までのインターネット調査(回収数:10,128)利用希望と同様



## ◆テレワークの利用希望



出典 内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(令和2年6月)

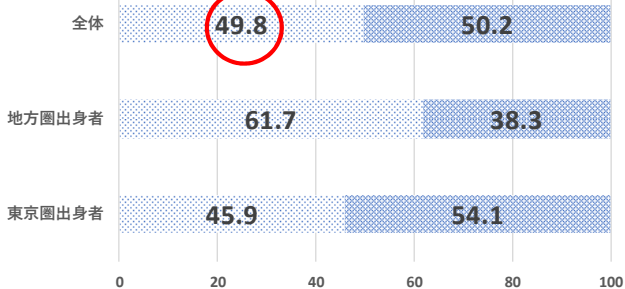
3

# コミュニティを取り巻く環境③ (移住・関係人口)

- 東京圏在住者(20~59歳)の半数が地方暮らしに関心を持っている
- コロナにより、地方移住の関心が高まっており、地方への動きが進む可能性
- 特定の地域に継続的に多様な形で関わる関係人口が注目されている

## ◆地方暮らしへの関心(令和2年1月)

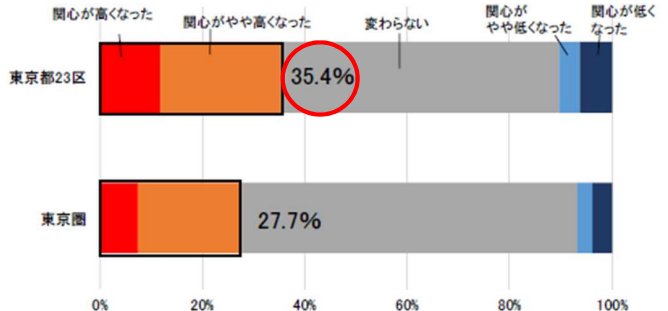
WEBアンケート調査:令和2年1月  
全体=10,000S 地方圏出身=2,492S 東京圏出身=7508S (%)



※意向あり層 ※意向なし層

※東京圏在住者(0~59歳)10,000名(一都三県の実人口<2015年国勢調査>に応じて割付)  
出典 内閣官房「移住等の増加に向けた広報戦略の立案・実施のための調査事業報告書」

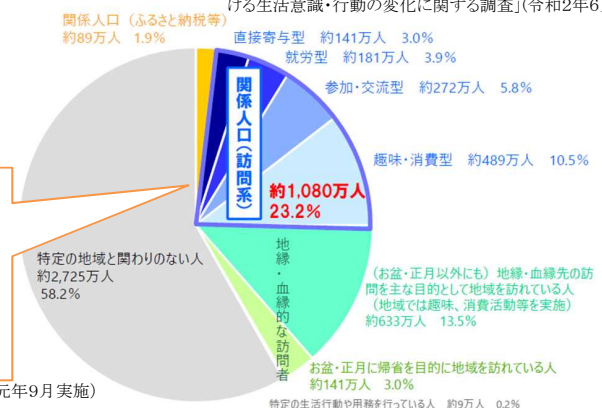
## ◆コロナ禍での地方移住への関心の変化



出典 内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(令和2年6月)

## ◆三大都市圏居住者の関係人口

- 関係人口は概ね1/4。その存在は無視できない
- 地域づくり活動など直接寄与型は3.0%、テレワークや農林水産業への従事など就労型は3.9%
- イベント参加など参加・交流型は5.8%、趣味・消費型は10.5%



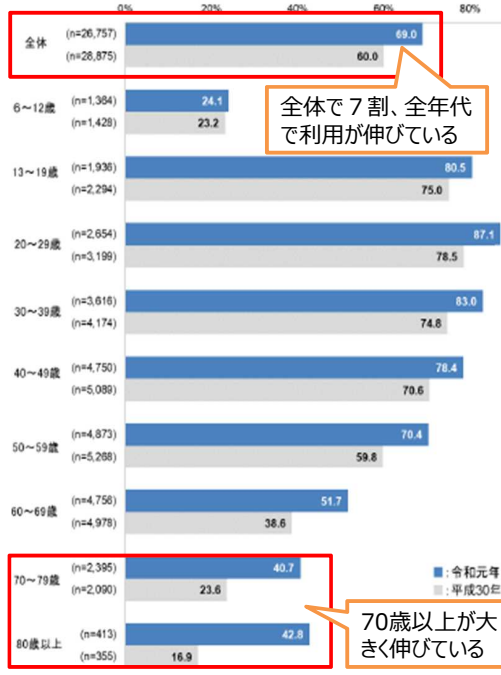
出典 国土交通省「地域との関わりについてのアンケート」(令和元年9月実施)

4

# コミュニティを取り巻く環境④ (ソーシャルメディア)

- 若者を中心に7割の人が利用。直近では70歳以上の利用も大きく伸びている
- 家族や友人とのつながりを補完する役割と情報収集としての利用が多い
- オフラインコミュニティでの利用は、日本は欧米に比べ低く、伸び代がある

## ◆ソーシャルメディアの利用状況



全体で7割、全年代で利用が伸びている

70歳以上が大きく伸びている

出典 総務省「令和元年通信利用動向調査」(2020)

## ◆ソーシャルメディアの閲覧状況

プラットフォーム	配偶者	両親	自分の子供	その他親戚(兄弟姉妹、祖母、孫など)	友人(学校の同級生、同窓生を含む)	仕事を通じて知り合った、同僚以外の知人(取引先等)	仕事以外の知人(頻りに連絡を取り合う相手)	ソーシャルメディアを通じて知り合った人(頻りに連絡を取り合う相手、有名人など)	その他(閲覧のみしておき、連絡を取り合わない相手、有名人など)	他者の書き込みは閲覧していない
Facebook (n=493)	5.7	2.8	4.5	8.3	49.3	9.9	15.6	18.5	13.0	28.8
Twitter (n=484)	2.9	1.7	2.3	3.3	27.5	4.1	7.2	12.2	20.2	53.5
Instagram (n=338)	4.7	1.8	3.8	5.0	33.7	5.9	8.6	12.7	13.6	47.6
LINE (n=698)	25.4	13.8	21.3	23.6	49.7	14.6	10.2	13.6	6.7	11.2
その他のSNS (mixiなど) (n=217)	3.7	1.4	2.8	4.1	23.5	3.2	4.6	7.4	13.8	24.9
その他のオンラインチャット (Skypeなど) (n=173)	4.0	4.0	6.9	8.7	20.8	3.5	4.6	6.9	12.7	9.2
ブログ (n=413)	2.4	0.5	1.0	0.5	9.9	1.7	1.9	6.8	10.2	69.2
情報・レビュー共有サイト (価格.com、食べログなど) (n=564)	0.9	0.4	1.1	0.4	3.5	0.7	0.9	2.7	3.2	67.9
掲示板(5ちゃんねル/2ちゃんねルなど) (n=341)	1.2	0.3	0.6	0.9	3.5	1.2	0.3	2.1	4.1	69.5
メーリングリスト (n=139)	5.0	5.0	4.3	5.0	20.1	5.8	6.5	10.8	7.9	23.0
オンラインゲーム/ソーシャルゲーム (n=216)	2.3	1.4	3.2	1.9	10.2	3.2	0.9	1.4	9.7	33.8

情報収集が多い

## ◆オフラインコミュニティでの活用状況

国	町内会・自治会	PTA	農協や同業者の団体	労働組合	生協・消費者団体	ボランティア団体	住民運動団体・市民運動団体	宗教団体	学校の同窓会	仕事を離れたつきあいのある職場仲間のグループ
日本	16.0	41.3	21.1	23.8	16.0	41.3	25.0	11.1	43.9	48.7
アメリカ	70.3	59.3	60.0	55.2	63.9	57.2	49.1	55.2	73.3	72.4
ドイツ	53.4	58.3	69.0	50.6	47.2	52.6	38.0	56.4	47.4	60.9
イギリス	89.9	51.0	56.9	57.1	64.2	63.4	39.3	37.5	54.8	69.8

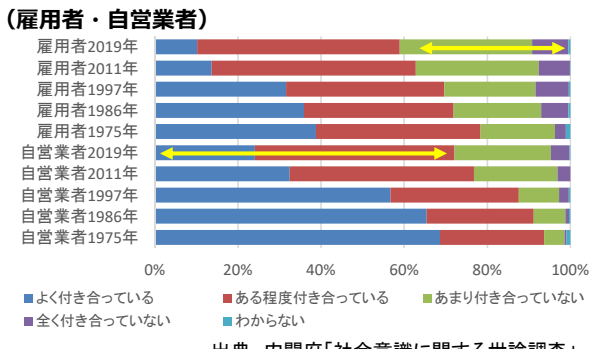
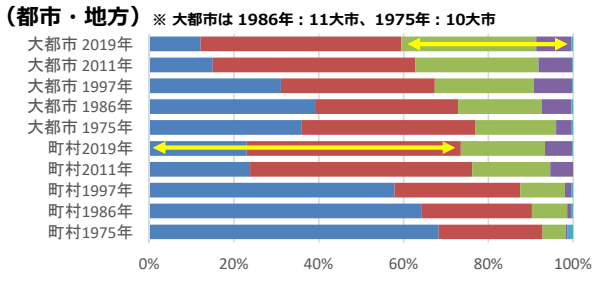
友人とのつながりを補完

出典 総務省「ICTによるインクルージョンの実現に関する調査研究」(2018)

# 都市・地方のコミュニティの特徴・課題

- 人口の密集する都市ほど、生活・職場・余暇活動が明確に分離され、地域の繋がりは希薄化している。自治会に加入していても参画しないコミュニティの空洞化や、フリーライダー (ただ乗り) 問題なども課題に
- 地方は、相対的に地縁的な繋がりが強いが、年々繋がりは希薄化している。また、担い手の高齢化などにより、継続困難な限界コミュニティも増加。新しい居住者が伝統的な繋がりに馴染めないなどの課題も

## 都市・地方等での人々との付き合いの程度



出典 内閣府「社会意識に関する世論調査」

## 都市・地方のコミュニティの特徴・課題

	都市	地方
人口密度	・密集	・開疎
人口の出入	・通勤等による流動性が高い	・長期定着人口が相対的に多い
昼夜間人口の差	・居住地域の昼夜間人口の差が大きい ・サラリーマン等は一日の大半を別のコミュニティで過ごす	・居住地域と仕事の場が一体的であり昼夜間人口の差が少ない ・農家や商工業者等は、生活と仕事でのコミュニティに重なり
地域コミュニティの現状	・地縁的なつながりや共通の価値観は希薄または皆無 ・自治会に加入しても参画しないなど ・コミュニティが空洞化 ・ただし、特定目的を持つコミュニティはできやすい	・地縁的な繋がりは比較的強いが、人口減少、高齢化や地域経済の縮小により、地域コミュニティの維持が困難に ・また、新しい居住者が馴染みにくいという傾向も
主な特徴・課題(キーワード)	・住居・職場・余暇活動の分離 ・プライバシーの追求 ・近隣の顔を知らない、無関心 ・フリーライダー (ただ乗り)	・限界コミュニティ ・担い手の減少、高齢化 ・相互監視、同調圧力

# 地域コミュニティが果たす役割・機能

- 地域コミュニティは、日常生活を営む上での社会的最小単位である個人・家族とこの対極にある政府・自治体の地理的空間、公共性の観点からの中間組織として機能
- 具体的には、相互扶助、地域文化維持、行政補完、交流親睦等の機能を発揮。さらにこれらが十全に機能することで住民の地域への愛着も醸成

## ◆ 地域コミュニティの機能

役割・機能	内容	具体例
相互扶助機能	・地域住民ニーズを反映した、安全・安心で住みよい地域社会を実現するため、個人や家庭、地域が直面する課題について地域住民自らが発見・把握・共有し、相互に協力して解決する機能	・住民相互の扶助、防火・防災活動、地域の安全確保、交通安全、地域福祉・介護・保健・医療活動、学校教育支援、生涯学習、環境美化・清掃活動、環境保全・廃棄物・リサイクル活動等
地域文化維持機能	・地域固有の自然や古くから伝わる伝統・文化等、地域の様々な資源・環境の保護・継承に貢献し、魅力ある地域として地域の個性を維持・形成する機能	・伝統文化・伝統芸能の継承
行政補完機能	・行政関係情報の伝達・調整、各種団体等との連携、地域代表としての行政への陳情・要望等	・行政からの広報誌等の回付など、行政からの連絡・情報提供、公共事業の協力、行政の会議等への参加、行政機関・議会に対する要望・陳情等
交流親睦機能	・趣味・レクリエーションや親睦活動等を通じて、住民同士の交流を促進し親睦を深める機能	・盆踊り・お祭り・敬老会・成人式等のイベント開催、趣味・スポーツ・レクリエーション活動、住民相互の連絡、慶弔等
地域自治機能	・行政とともに地域で公共を担う主体としての機能	・まちづくりへの参加、地域づくりなどの政策提言、地区計画・コミュニティ計画の策定への参加等

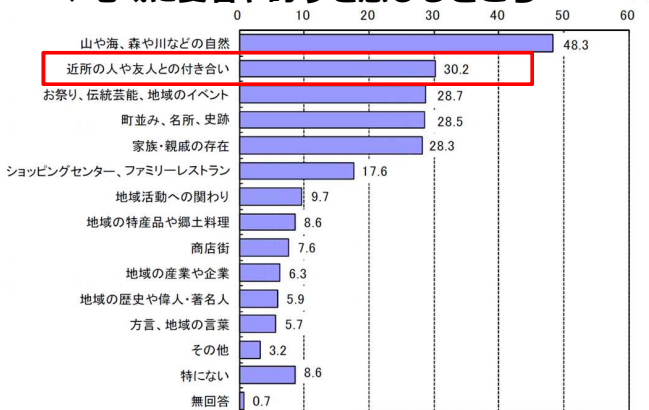
出典 「立法と調査」(参議院)(2009)等を基にビジョン課作成

7

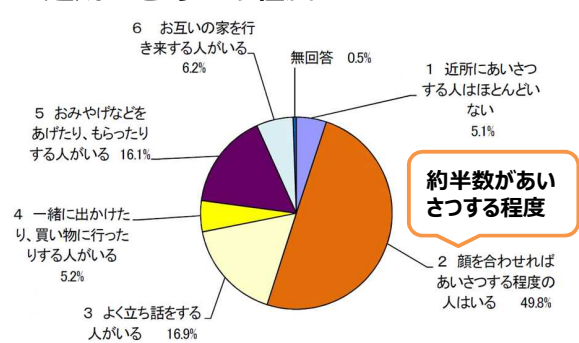
## 本県の地域コミュニティに関する意識①

- 地域に愛着や誇りを感じるどころとして「近所の人や友人との付き合い」が2番目に高く、年代が高くなるにつれ、また在住年数が長くなるにつれ、その割合は上昇
- 近所付き合いの程度が比較的濃いと考えられる項目の合計は、但馬が最も高い

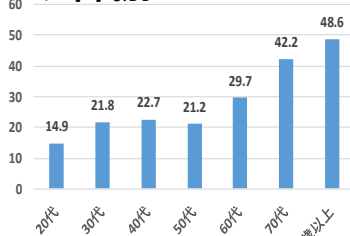
### ◆ 地域に愛着や誇りを感じるどころ (%)



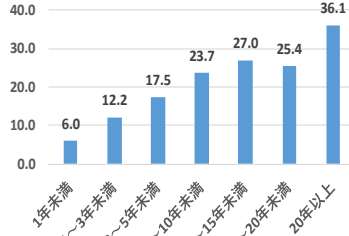
### ◆ 近所づきあいの程度



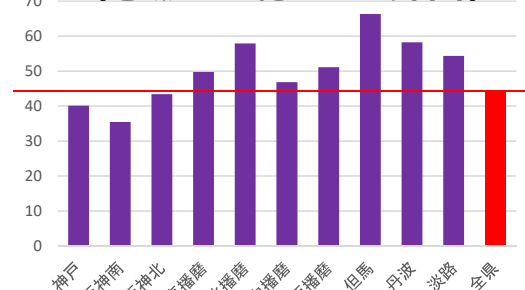
### ◆ 年代別



### ◆ 在住年数別



### ◆ 近所づきあいが比較的濃い割合 (地域別：上記3~6の合計)



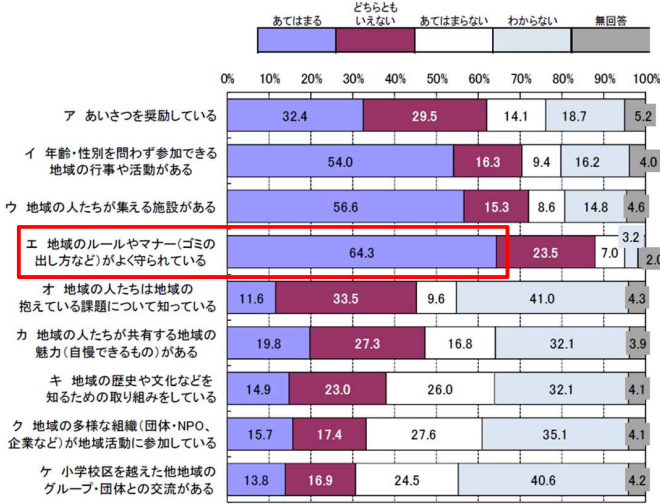
出典：兵庫県「令和元年度県民意識調査『みんなが活躍できる参画と協働の地域づくり』

8

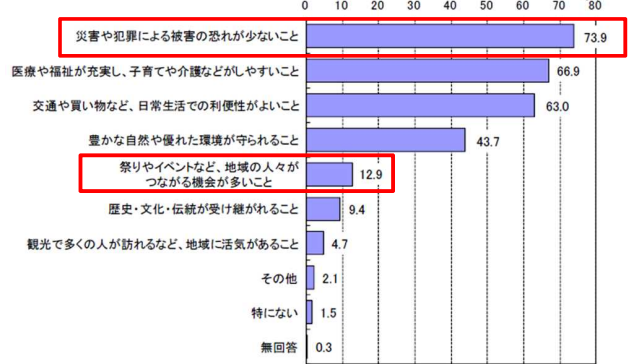
# 本県の地域コミュニティに関する意識②

- 地域の様子で「あてはまる」が最も多いのは「地域のルールやマナーが良く守られている」
- 居住を継続するにあたって重視する点で最も多いのは防災防犯面。「地域の人々がつながる機会」は祭りが盛んな中播磨で多かった。

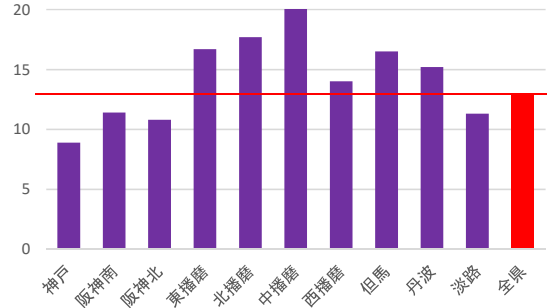
## ◆居住する地域の様子



## ◆居住を継続するにあたって重視する点



## ◆「祭りやイベントなど、地域の人々がつながる機会が多いこと」の割合(地域別)

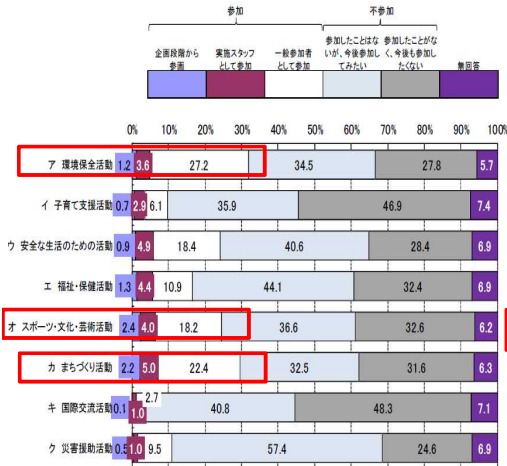


出典: 兵庫県「令和元年度県民意識調査『みんなが活躍できる参画と協働の地域づくり』

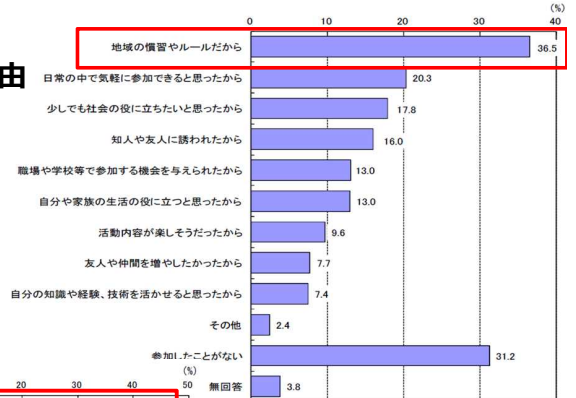
# 本県の地域コミュニティに関する意識③

- 過去1年間の地域活動への参加状況は、「環境保全活動」が最も多く、次いで「まちづくり活動」、「スポーツ・文化・芸術活動」が続く
- 地域活動に参加した理由は「地域の慣習やルールだから」が最も高く、参加しない、しにくい理由は「仕事や学校が忙しく、時間がなかったから」が最も高い。

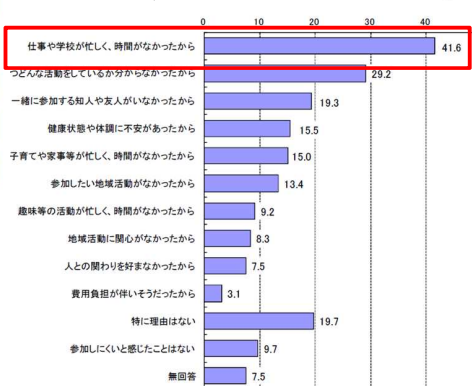
## ◆過去1年間の地域活動への参加状況



## ◆地域活動に参加した理由



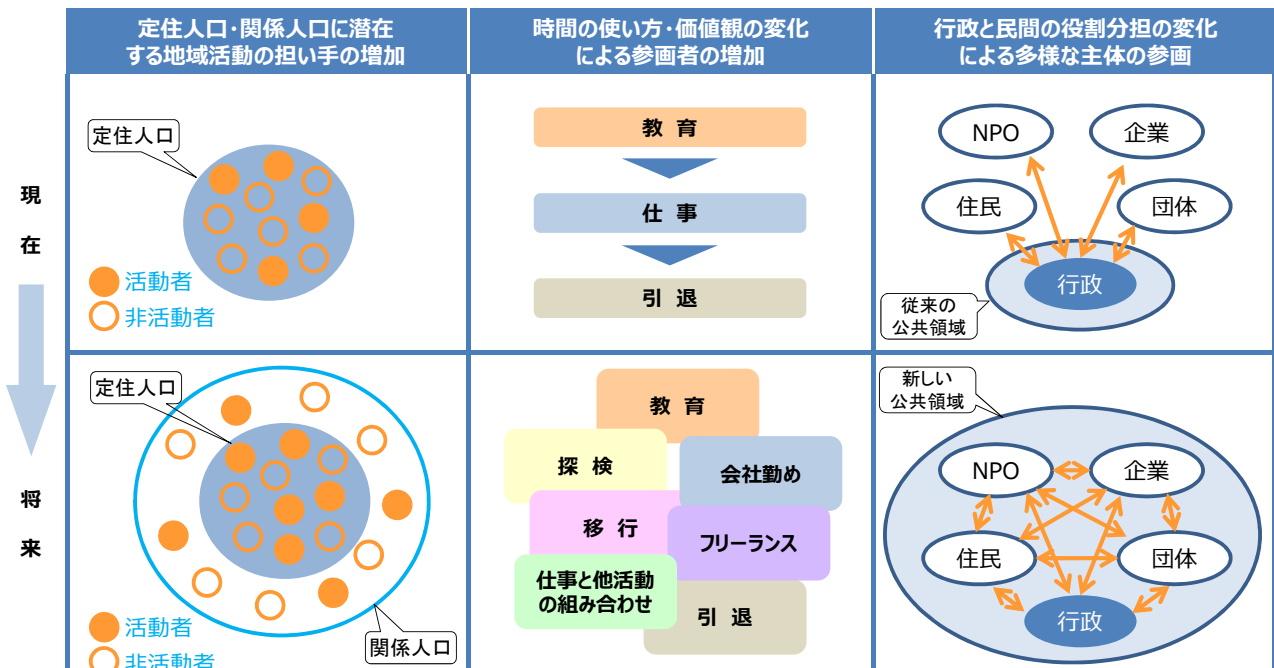
## ◆地域活動に参加しない、しにくい理由



出典: 兵庫県「令和元年度県民意識調査『みんなが活躍できる参画と協働の地域づくり』

# 地域コミュニティの担い手

- 従来の地縁型組織（町内会、自治会、消防団、婦人会、老人会、子供会等）では地域住民（定住人口）の一部が活動の主な担い手として活躍
- 今後、関係人口の増加に伴い活動に参加する住民や、時間の使い方・価値観の多様化の中で地域活動に参加する住民、NPO・民間企業等、共通の価値観や目的をもつ外部の多様な共助組織・人材が拡大した新しい公共領域のもとで担い手として参画



出典 「新たなコミュニティの創造を通じた新しい内発的発展が支える地域づくり」(国交省) (2019) 11

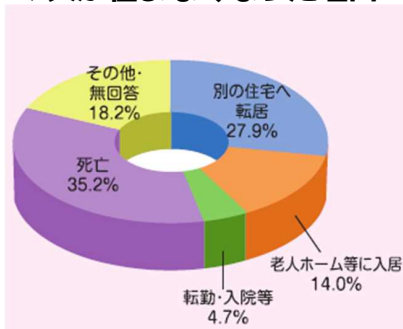
## 空き家の現状

- 空き家の総数は現在、全国で849万戸、県内で36万戸
- 空き家が生じる要因の35.2%が死亡、所有原因の52.3%が相続
- 劣化による危険空き家の増加、倒壊、放火、不法投棄、不法占拠等問題が発生

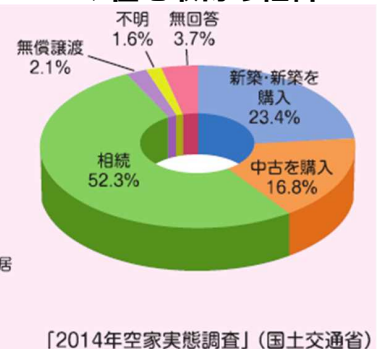
### ◆ 全国の空き家数



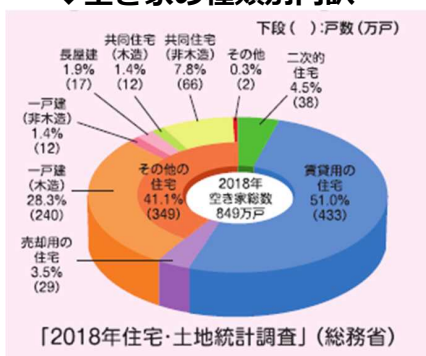
### ◆ 人が住まなくなった理由



### ◆ 住宅取得の経緯



### ◆ 空き家の種類別内訳



### ◆ 一般世帯数の推移(県)



### ◆ トラブル事例



台風による空き家の倒壊(神戸市)

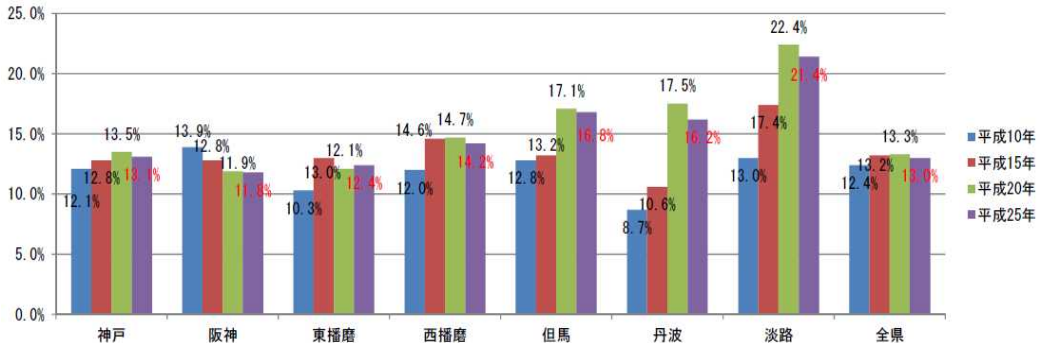
# 空き家数

- 県内の空き家数は一貫して増加し、空き家率は13%前後で高止まり
- 淡路、但馬、丹波で、空き家率が高い

空き家数及び  
空き家率の推移(県)



圏域別空き家率  
の推移(H10~25)

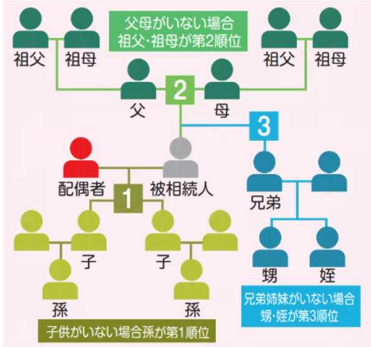


出典 総務省「住宅・土地統計調査」(2016) 13

## 空き家の流通促進① (税制優遇・インスペクション・バンク)

- 相続財産は遺言がない場合、協議により決するが、法定相続割合が基本となる。
- 共有となった場合、行為内容により共有者一定割合の合意が必要となり管理が困難化

### ◆法定相続



### ◆不動産の共有

- 保存行為: 持ち分に関わらず、共有者が単独で行うことが可能
- 管理行為: 各共有者が持ち分の価格に従い、その過半数の合意が必要
- 変更・処分行為: 共有者全員の合意が必要

### ◆インスペクション

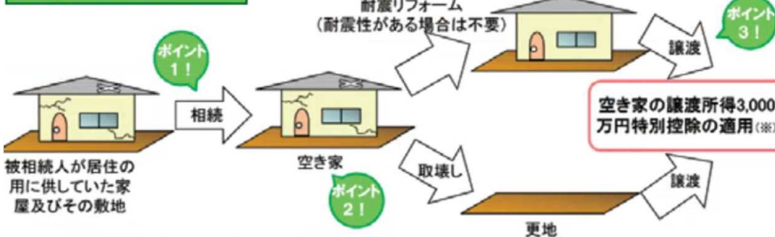
インスペクションを受けると、住まいの劣化状況が明らかになり、購入者は安心して住宅を取得。県が定める基準を満たした場合、「ひょうご安心既存住宅マーク」が表示可能に



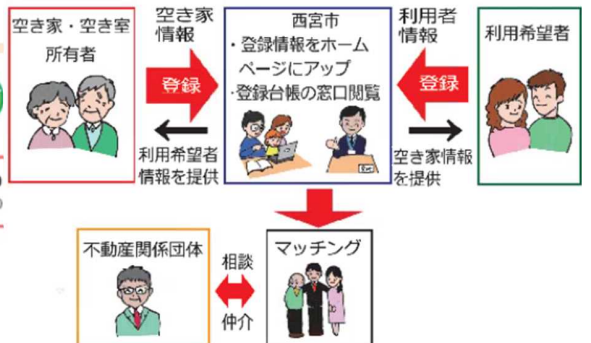
### ◆空き家バンクによるフロー (西宮市)

### ◆相続による空き家を譲渡した場合の税制優遇

#### 本措置のイメージ



(※)本特例を適用した場合の譲渡所得の計算  
 譲渡所得 = 譲渡価額 - 取得費(譲渡価額×5%(※)) - 譲渡費用(除却費用等) - 特別控除3,000万円  
 ※所得費が不明の場合、譲渡価額の5%で計算



出典 ひょうご住まいづくり協議会事務局「損する空き家・損しない空き家」  
 西宮市HP「空き家等利用情報提供事業」

# 空き家の流通促進② (古民家再生)

- 県では空き家を住宅、事業所又は地域交流拠点とする改修工事費を一部助成
- 地域の大手・建築士による古民家再生を支援する「古民家再生促進支援事業」を実施

## ◆古民家再生促進支援制度活用事例



sasurai(ささい) 篠山市日置地区  
江戸時代に建築された商家を飲食店や衣類販売店などの複合施設として再生



農家民宿まるつね 朝来市生野町  
築90年以上の古民家を農家民宿としてコンバージョン



憩いの場 咲良屋(さくらや) 豊岡市出石町  
国の重要伝統的建造物群保存地区中心部にあるまちカフェや福祉関連施設として再生



立誠舎(りっせいしゃ) 養父市八鹿町  
江戸時代に私塾として利用された古民家を改修し、地域交流や学習の拠点として再生

出典 ひょうご住まいづくり協議会事務局「損する空き家・損しない空き家」 15

# 空き家の流通促進③ (リノベーションまちづくり)

- 地域の空き家物件、人材、歴史を地域資源と見立て、その活用により再生を図る手法
- 空き物件を活用した事業立案の実践演習「リノベーションスクール」を開催
- 人材や空き物件のオーナー発掘、民間主体の連鎖的なまちなか再生をめざす

## ◆兵庫県リノベーションまちづくりフロー

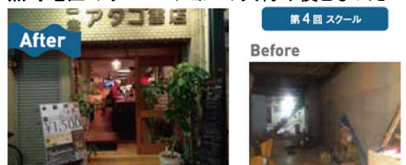


## ◆北九州市中心部の事例

北九州市では、行政・地域住民等と連携し、空き家等をスモールオフィスなどに転用し、その地域に起業家や個人事業者を入れ、地域を支える新しい産業や賑わいを興そうと試みる現代版家守の手法を用いたリノベーションまちづくりを実施



商店街に面した商業店舗をスタートアップ拠点へ魚町地区のリノベーションの火付け役となった



古書店兼住居(3階建てビル)の外観を残しつつ1階ワインバー、2階美容室、3階スポーツジム・デザイン事務所、屋上ワインバーへ



商業施設(雑居ビルの3階部分)をシェアオフィスへ



マッサージ店を一時託児とママの交流の場へ

出典 兵庫県「リノベーションまちづくりの推進」16  
北九州市「RENOVATION MAP」